



# 広報 おおの

平成18年（2006年）

No. 734



各種検査にドキドキ  
(和泉小就学予定の子供たち)



## 特集

### 景観アンケートまとまる

- P5 9月定例会市議会の概要
- P6 人事行政の運営状況を公表
- P8 あなたの意見募集します（パブリックコメント）
- P9 クマの出没相次ぐ

# 11月号

## 景観に関する意識調査結果まとまる



新丁トンネルから見た越前大野城・亀山

# 大切にしたい場所や建築物 「越前大野城・亀山」が一位

市では現在、「大野市景観計画」の策定作業を進めています。その中で、四月から六月にかけて「魅力ある景観づくりのためのアンケート」を実施。市民や本市を訪れた人など三千人余りから回答をいただきました。今後、アンケートで得られた結果を参考に素案を作成し、意見募集などを行っていく予定です。

### アンケートの概要

今回実施したアンケートは本市の景観に対する実情・意識を調査し、景観計画に反映させるために行いました。調査の対象は市民千五百人をはじめ、市内の中高生、東京・関西・中京の各大野会会員、本市を訪れた人など二千五百五十八人。そのうち、二千六十一人から回答を得ました。(回答率は80・57%)

調査は全部で十項目。各区長による配布・回収のほか、新緑まつりや山菜フードピア、名水マラソンなどの会場で調査ブース設置、郵送による配布などの方法で実施しました。

### 景観計画とは

景観法に基づいて良好な景観形成のため、その方針と建築などの行為の基準を定めるものです。

今年一月七日、景観法の規定に基づき事務を行う「景観行政団体」となり、景観行政をさらに推進するため「大野市景観計画」を定めます。

特に市民に対しては、各区の世帯数に応じて調査票を配布し、回答者の性別や年齢層がなるべく分散するように配慮しました。

集計した調査結果の一部を紹介します。

# 景観への関心・評価は

市民と大野会会員の景観に対する関心は高く、「関心がある」と答えたのはそれぞれ83・5%、92・4%でした。中高生は関心のある人となりの割合がほぼ半々でした。

一方、「評価」に対する市民の回答は厳しく、「優れている」と答えたのは34・5%にとどまり、「どちらともいえない」が44・1%、「劣っている」と答えた人も20・9%に達しました。

中高生と大野会会員では「優れて



県内唯一の百名山「荒島岳」

いる」と答えた割合がそれぞれ54・3%、52・1%、本市を訪れた人では「優れている」との回答が73・3%に達しました。

この結果から、市民は景観には関心が高い一方で、現状の景観に対しては満足できていないことが分かります。

## 何がすばらしいのか

では次に、何をすばらしいと感じるのかを▼歴史を感じさせる街なみ▼市街地を取り囲む山並み▼田園風景▼農村集落風景▼森林風景▼河川など▼湧水地▼溪流・渓谷▼ダム湖▼澄みきった星空や高所から眺める風景▼その他―の十一項目から三つ選択してもらいました。

大野会会員と本市を訪れた人で最も多くの回答を得たのが「歴史を感じさせる街なみ」でそれぞれ24・1%、26・0%でした。この点から、市外から訪れる人に対して大野の印象を高めるためには、街なみを整備することが効果的といえます。

一方、市民は「歴史を感じさせる



亀山上空から見た市街地

街なみ」(18・3%)、「市街地を取り囲む山並み」(18・1%)、「澄み

## 大切にしたい場所などは

次の質問では、大切にしたい場所や建築物などとそれらを望み見ることができるところについて、具体的に記入してもらいました。

その結果、市民が大切にしたい場所などの一位は「越前大野城・亀山」で23・6%が回答。続いて「大野盆地・田園風景」(14・5%)、「荒島岳」(13・4%)となりました。越前大野城・亀山を選んだ理由として▼



名水百選「御清水」

きった星空や高所から眺める風景」(17・3%)の割合が高く、中高生では「澄みきった星空や高所から眺める風景」(15・2%)が最も高い結果となりました。

そのほかの項目で全体に高い割合を示していたのは「湧水地」で、市民(9・9%)、中高生(12・8%)、大野会会員(16・9%)、本市を訪れた人(11・5%)でした。

この結果から、大野の景観ですばらしいのは歴史を感じさせる街なみとそれを取り囲む山並みであり、山々からの眺めもすばらしく、また名水百選「御清水」をはじめ、市内各地に存在する湧水地も特徴的な景観であるといえます。

市のシンボルである▼歴史を感じる▼四季を問わずきれい▼ライトアップがきれいーなどが挙げられました。また国道158号新丁トンネルからの眺めを選んだ理由に挙げている人もいました。

大野盆地・田園風景や荒島岳は、きれいな雪景色や雄大さで選出。そのほか、寺町通り、九頭竜峡・九頭竜ダム・九頭竜川、六呂師高原、七間通り・七間朝市、真名峡・真名川ダム・真名川なども多くの人が選んでいました。



歴史を感じさせる街並み

## 景観を損ねているものは

次に、景観を損ねているものを、損ねていると思う順に選択してもらいました。それから、その状況やそう感じられる理由を記入してもらいました。

選んでもらった項目は▼空き家・駐車場・空き地・老朽化した建物▼電柱・電線▼大きざや色使いなどが過度な看板・広告▼店先ののぼり旗▼ネオンライトなど過度な照明▼周囲と調和しない色やデザインの建物▼眺望を阻害する巨大な建物や構造物▼田園の中にある資材置き場▼放置された農地▼露出した山肌・法面▼放置自転車▼野ざらしになっ

る廃棄物やスクラップ▼ごみ集積場に積まれたごみ袋▼川の汚れ▼その他一十五項目。

市民と大野会会員の回答が最も多かったのは「空き家・駐車場・空き地・老朽化した建物」で、それぞれ18・5%、16・9%でした。次に多くの回答があったのは「野ざらしになっている廃棄物やスクラップ」で13・5%、12・7%でした。

一方、中高生は「川の汚れ」(15・1%)が最も多く、「野ざらし」になっている廃棄物やスクラップ(14・2%)も高い回答がありました。ちよっとした気配りがあれば防げる

ことを「景観を損ねている」と感じていることが分かります。「川の汚れ」は市民(11・8%)と大野会会員(7・5%)でも多くの回答がありました。

具体的に記入があった内容としては、巨大な建物や過度な色使いの看板・照明が景観を損ねているとの回答がありました。

## 良くなるために

では、その景観を良くするためには、どうすべきかとの問いに、市民、中高生、大野会会員で最も多くの回答だったのは「適正な管理」(それぞれ33・2%、28・5%、26・6%)でした。

このことから、空き地・空き家・



自然豊かな六呂師高原



大野盆地に広がる田園風景

駐車場・河川・身の回りをまず適正に管理することを求めていることが分かります。

市民と、大野会会員や本市を訪れた人としては「本市の景観に対する評価」に違いがあり、来訪者は優れていると評価しているのに対し、市民は現状にあまり満足していないことなどが分かりました。

この結果を基に、今後ワーキンググループにより素案をまとめ、パブリックコメント手続きに基づく素案公開と意見募集を実施。そこでの意見を踏まえ、大野市都市計画審議会、都市景観審議会に諮り、年度内に大野市景観計画を定める予定です。

問合せ先 都市整備課計画係 (☎66

・1111 内線351)

# 例市議会 定市議

## 「元気プラン」実現に向け補正予算 一般会計に2億8千万円余り追加

第三百四十六回定例市議会が九月十一日から二十八日にかけて開かれました。「一般会計補正予算案」や「大野市手数料条例の一部を改正する条例案」など二十一議案を審議。十九議案が原案通り可決・承認・同意され、決算認定二議案が継続審査となりました。

また「トンネルじん肺根絶を国に對して求める陳情書」一件が採択されました。

### 補正予算の概要

一般会計では、歳入・歳出それぞれ二億八千五百五十八万七千円が追加され、予算総額は百五十一億二千

七百四十万五千円。前年度と比べ三・一%の減となりました。

補正の主な内容は、岡田市長の公約である「大野元気プラン」実現に向け、市内に点在する観光や農林業の素材とその活用方法を探る「エコ・グリーンツーリズム調査事業」に三百四十五万五千円、新しい観光戦略の方向性を示す「大野市観光戦略プラン策定事業」に百三万六千円、中心市街地の活性化に向けた課題の整理や推進体制を検討する「中心市街地活性化検討事業」に八十万円などとなっております。また、大野ならではの新型農業を確立するため、平成十五年に策定した「おおの型 食・農業・農村ビジョン」の見直しに七十万円を計上しました。

さらに、「学びの里「めいりん」」の供用開始前に開催された検討委員会で指摘のあった安全対策のうち、早急に対策が必要な工事費用として四百三十三万円を計上。

そのほか、今年一月に発生した保

健センターの重油漏れ調査で、過去に重油漏れがあったことが確認されたことから、油汚染の範囲を確定させる追加調査や近隣井戸水の水質調査、地下水に影響を与えない工法による油の回収経費として一千三百五十五万三千円を計上しました。

特別会計では三億三千七百四十二万九千円を追加。一般会計と特別会計、企業会計を合わせた予算総額は二百八十九億一千九百九十七万四千円となりました。

### 人事案件に同意

平成十八年十月六日で任期が満了する固定資産評価審査委員会委員の選任と、十二月三十一日で任期が満了する人権擁護委員候補者の推薦について、次の通り議会で同意されました。(敬称略)

- 固定資産評価審査委員会委員
- ・上野法子(下麻生嶋・再任)
- 人権擁護委員候補者
- ・廣瀬円昌(蔵生・再任)

### 9月補正 一般会計の主な事業

- ◆民生費
  - ・障害者福祉サービス事業……………980万4000円
  - ・地域介護・福祉空間整備事業補助……………1620万円
- ◆衛生費
  - ・保健センター管理運営経費……………1315万3000円
- ◆農林水産業費
  - ・エコ・グリーンツーリズム調査事業……………304万5000円
- ◆商工費
  - ・中心市街地活性化検討事業……………80万円
  - ・大野市観光戦略プラン策定事業……………103万6000円
- ◆土木費
  - ・河川改良事業……………1050万円
- ◆教育費
  - ・めいりん安全対策経費……………433万円
  - ・子ども安全・安心パワーアップ事業……………120万円
- ◆災害復旧費
  - ・林道施設補助災害復旧事業……………2057万3000円

平成十七年度の「大野市人事行政の運営等の状況」の一部を公表します。これは、昨年度中に採用または退職した職員数をはじめ、職員の給与や手当の状況をお知らせするものです。

なお、大野市人事行政の運営等の状況の公表に関する条例（平成十七年条例第一号）第六条に規定するすべての項目は、市のホームページと市役所掲示板で公表しています。

問合せ先 総務課職員係（☎66・1111内線242）

## 職員の任免と職員数に関する状況

### 職員の採用と退職の状況

昨年度採用した職員数は行政職5人、現業職は0人でした。一方、退職者は行政職が9人、現業職が4人となっています。

職 種	平成15年度		平成16年度		平成17年度	
	採用者数	退職者数	採用者数	退職者数	採用者数	退職者数
行政職	4	8	7	7	5	9
現業職	1	6	0	4	0	4
計	5	14	7	11	5	13

## 職員の分限と懲戒処分の状況

### 分限処分の状況

分限処分とは、公務の能率の維持とその適正な運営の確保の観点から、職員がその職責を果たすことができない場合に行う処分のことです。

昨年度は6人を処分しました。処分理由と人数は次の通り。

#### 処分理由と人数

- ◆勤務実績が良くない場合・・・0人
- ◆心身の故障の場合・・・6人
- ◆職に必要な適格性を欠く場合・・・0人
- ◆刑事事件に関し起訴された場合・・・0人
- ◆条例で定める事由による場合・・・0人

### 懲戒処分の状況

懲戒処分とは、職務上の義務違反など公務員としてふさわしくない非行がある場合に行う処分のことです。昨年度は懲戒処分者はありませんでした。

## 職員の研修と勤務成績の評定の状況

### 勤務成績の評定の状況

地方公務員法（昭和25年法律第261号）第40条第1項の規定に基づき、職員の勤務の業績や職務に関連する能力、態度等を公平かつ統一的に把握し、人事管理並びに職員の能力開発、育成と活用を図るため、平成18年度から勤務評価制度を施行しています

## 職員の給与の状況

### 一般行政職(243人)の各種状況

平成18年4月1日現在の一般行政職の職員数は243人です。一般行政職とは、税務職、医師、消防、保育士、幼稚園教諭、企業職、現業職などを除いた職のことです。

#### 平均給与額と平均年齢の状況

一般行政職と現業職(62人)の平均給与額と平均年齢は次の通り。

##### 【一般行政職】

平均給料月額 31万8839円  
平均給与月額 37万1467円  
平均年齢 40.4歳

##### 【現業職】

平均給料月額 29万4948円  
平均給与月額 31万3248円  
平均年齢 46.8歳

### 学歴別の初任給と経験年齢別平均給料月額

◆学歴別の初任給は次の通り。

【大学卒】15万9700円(国17万200円)

【高校卒】13万8400円(国13万8400円)

◆経験年齢別平均給料月額は次の通り。

なお経験年数とは、卒業後直ちに採用され、引き続き勤務している場合の採用後の年数を指します。

【大学卒】5～6年 20万5600円

10～14年 26万4700円

25～29年 41万6800円

【高校卒】5～6年 18万400円

10～14年 23万9300円

25～29年 37万900円

### 級別職員数の状況

平成18年4月1日現在の行政職給料表適用職員の級別職員数は次の通り。

※行政職給料表適用職員とは、一般行政職の職員243人を指します

#### 級別職員数と構成比

【1級・主事】14人(5.8%)  
【2級・主事】37人(15.2%)  
【3級・主査】90人(37.0%)  
【4級・主査、係長】39人(16.1%)  
【5級・課長補佐】29人(11.9%)  
【6級・課長】27人(11.1%)  
【7級・部長】7人(2.9%)

### 人件費の状況(平成17年度・普通会計決算)

昨年度普通会計決算で人件費の占める割合(B/A)は18.6%でした(16年度は21.4%)。なお人件費には特別職に支給される給料、報酬等を含んでいます。

住民基本台帳人口 (H18年3月末現在)	歳出決算額 (A)	人件費 (B)
3万9950人	199億2742万7000円	37億1179万8000円

### 職員給与費の状況(平成18年度・普通会計当初予算)

平成18年度普通会計当初予算に計上されている職員数は402人です。その職員に対する職員給与費は次の通り。

1人当たりの給与費は608万円となります。

給与費	
給料	職員手当
15億6414万6000円	2億4266万6000円
期末・勤勉手当	計
6億3753万6000円	24億4434万8000円

### 職員手当の状況

平成18年4月1日現在の職員手当の状況は次の通り。

◆扶養手当(金額はすべて国と同額です)

- ・配偶者 月額1万3000円
- ・配偶者以外の扶養親族2人まで 月額6000円
- ・扶養親族でない配偶者うち1人 月額6500円
- ・配偶者のない場合うち1人 月額1万1000円
- ・その他の扶養親族1人につき 月額5000円
- ・扶養親族のうち満16歳に達する年度初めから22歳に達する年度末までの間の子1人につき 月額5000円加算

◆期末・勤勉手当

平成17年度に支給された6月期と12月期の期末・勤勉手当の割合は次の通り。(なお職制上の段階や職務の級などによる加算措置があります)

区分	大野市		
	期末手当	勤勉手当	計
6月期	1.4月	0.7月	2.1月
12月期	1.6月	0.75月	2.35月
合計	3.0月	1.45月	4.45月

### 特別職の給料、報酬等の状況

平成18年9月1日現在の特別職の給料報酬月額と期末手当の割合は次の通り。

区分	給料報酬(月額)	期末手当
市長	84万3300円	6月期 1.60月分 12月期 1.70月分 計 3.30月分
助役	71万520円	
議長	44万8000円	
副議長	37万7000円	
議員	35万7000円	

## 地域防災計画・国民保護計画策定に向け

# 素案公開と意見募集を実施します

市では現在、「大野市地域防災計画」の修正と「大野市国民保護計画」の策定作業を進めています。

今月中旬には各計画の素案を公開し、意見募集を行います。募集期間は二週間程度を予定。皆さんのご意見をお待ちしています。

**募集期間** 十一月中旬から二週間程度（詳しい期間が決まりましたらホームページなどを通じてお知らせします）

**素案公開場所** 市役所一階行政資料室、和泉支所、各公民館（ただし和泉公民館は除く）

※市のホームページでも公開します

### 各計画の概要

#### ■大野市地域防災計画

「大野市地域防災計画」は、地域住民の生命や身体、財産を災害から守るため昭和三十三年に作成。その後、時代の変化や大規模震災などの災害に対応するため、修正を重ねてきました。現在の計画は平成十年に

修正されたものです。

今回、昨年十一月の和泉村との合併を経て市域面積が広がったことや平成十六年七月福井豪雨、平成十八年豪雪などの教訓を計画に反映させるため修正を行いました。

計画の内容は、総則、災害予防、一般災害応急対策、地震災害応急対策、災害復旧・復興の五章で構成されています。

#### ■大野市国民保護計画

「大野市国民保護計画」は、国が定めたいわゆる「国民保護法」に基づき、武力攻撃事態などが発生したときの住民避難の方法をはじめ、平常時の備えや市の責務などを定めたものです。

計画の内容は、総則、平常時の備え、実施体制、避難及び救援、武力攻撃災害への対処等、施設の復旧と生活の安定の六章で構成しています。※武力攻撃事態：わが国に対する外部からの武力攻撃が発生、発生する明白な危険が切迫しているまたは発生が予測される状況のこと

問合せ先 総務課行政係（☎66・1

111内線244）

## 『がぶっと大野まるかじり』を発行

# 体験・交流など 地図で紹介

市では、市内のグリーンツーリズム（地域資源を生かした各種体験や地域住民との交流活動）を紹介したマップ「がぶっと大野まるかじり」を発刊しました。

全体を通じて自然豊かな点をアピール。表紙には市の特産物であるおろしそばや半夏生そば、サトイモ、酒などを掲載しています。裏面には体験や交流活動ができる

各種施設の概要や連絡先をはじめ、体験を中心とした活動を行う団体の情報や月ごとのイベント情報、さらには直売所、温浴施設、キャンプ場などの情報を掲載しています。その所在地は表の地図で示しています。

マップは姉妹都市や関係機関のほか、市内公共施設や近隣の小中学校などにも配布しました。

市では現在、グリーンツーリズム

にエコツーリズム（自然環境を中心とした体験活動）の要素も含めたエコ・グリーンツーリズム確立に向けた調査を実施しています。この結果や、策定中の観光戦略プラン（仮称）を基に、来年度以降に広域的な観光ルートなどを紹介するマップを作成していく予定です。

**規格** カラーA3版両面刷り（四つ折り）

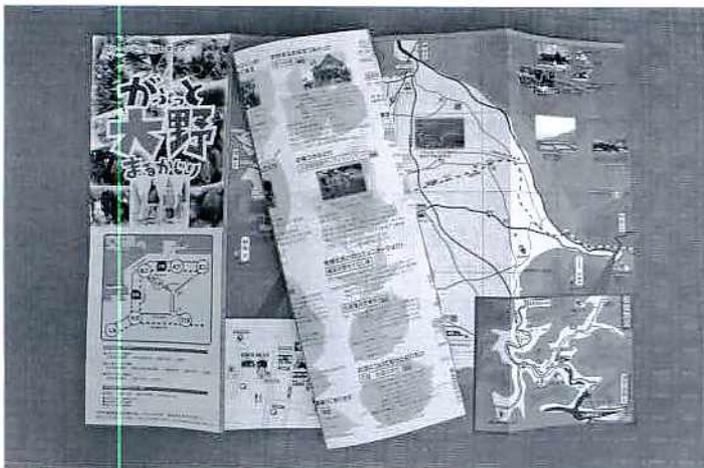
**作製部数** 二万一千九百部

その他 希望者には無料で配布しています

問合せ先 農政課農業振興係

（☎66・1111内線317）

## グリーンツーリズムマップを作製



# クマ出没相次ぐ けが人も

九月に入り、クマの目撃情報が相次いで寄せられたことから、市では

十月二日、「クマ出没対策本部」(本部長・助役)を二年ぶりに設置し、現在全庁体制で対応にあたっています。

特に十月に入ってから、山沿いだけでなく農村集落まで範囲が拡大しています。人身被害も発生しました。

今年はずえさが不足していることから、冬眠前のえさを求めて歩くことも考えられます。次の点に十分に注意してください。



民家横のスキの木に登る子クマ。その後捕獲し、山中に放獣しました。(10月10日下庄地区)

## 被害に遭わないために

朝夕の薄暗い時間帯は、クマがえさを探して活発に活動します。街灯のない道路や農道なども危険です。また、犬を連れての散歩はかえってクマを刺激する場合があります。

通常、クマは人間との遭遇を避けようとします。山へ出掛けるときは音の出るものを携帯する、夜間は車庫や物置の扉を閉めておくなど工夫しましょう。また、人家近くのやぶは刈り取り、物陰をなくしましょう。

## 寄せ付けないために

クマは力キヤクリなどのえさを探して民家に近づいてきます。実を残さないようにしましょう。また屋外に生ごみを捨てたり畑に野菜を放置したりすると、クマを近づける原因となります。絶対にやめましょう。

※もし人家近くでクマを発見したときは、速やかに対策本部または大野警察署(☎65・0110)まで連絡してください

問合せ先 クマ出没対策本部(事務局・林野耕地課内☎66・1111 内線324)

11月13日～18日に実施

# 市内保育園の見学日

来年度、保育園に入園を希望する乳幼児とその保護者を対象に、公立・私立すべての園で見学日を設けました。保育園を選ぶ際の参考にしてください。

日程 十一月十三日

日(月)十八日(土)

時間 午前九時三十分～十一時

その他 右記日程以外でも、各保育園へ電話で確認し見学することが出来ます。

入園の申し込み方法は、十二月号の「広報おの」でお知らせします

問合せ先 各保育園または児童福祉課子育て支援係(☎66・1111 内線292)

1 内線292

保育園名	区分	電話	所在地
あかね保育園	公立	66-5273	水落町7-24
荒島保育園	公立	66-4103	蕨生126-29
和泉保育園	公立	78-2812	朝日25-7
春日保育園	公立	66-4005	日吉町24-6
阪谷保育園	公立	67-1070	伏石11-14
義景保育園	公立	66-3333	清水119-12-1
いとよ保育園	民間	66-3848	清和町710
いなやま保育園	民間	66-0038	篠座94-39
開成保育園	民間	65-1103	新庄5-15-2
上庄保育園	民間	64-1217	稲郷43-5
亀山保育園	民間	65-1104	水落町3-35
篠座保育園	民間	65-6570	篠座74-32
誓念寺保育園	民間	65-6167	錦町4-17
誓念寺中野保育園	民間	65-6166	中野64-18-3



# 教育のページ

● 学校教育の話題から文化、スポーツ、生涯学習まで市内の教育情報をまとめて紹介します。大野市教育委員会 0779・66・1111

市内学校に先駆けて危機管理マニュアル作成など

## 「地域ぐるみでの子供安全活動」に評価

地域と一体となり学校安全活動を 「学校安全教育内閣総理大臣表彰」を進めている蕨生小学校が、今年度のを受賞しました。この賞は、政府が

七月一日を「国民安全の日」と定め、安全に関するさまざまな活動に功績のあった個人や団体を表彰するものです。

同校は平成九年からの二年間、学校安全に関する研究校の指定を受けたことを機に、▼市内の学校に先駆けて不審者対応などを定めた危機管理マニュアル作成▼危険場所を示した安全マップ作成▼地域住民で組織する「蕨生みまもり隊」の結成と連携などに取り組んできました。また子供たちに対しては、自分の命は自分で守ることの必要性を、訓練などを通して周知してきました。

### 同校の取り組み

蕨生小学校では、小規模校であることや校区が学校に協力的

であることなどを学校の特色と考え、次の安全確保対策を講じています。

#### 【校内】

● 集団登校後に全館を施錠

職員玄関のみ開錠し、来校者は受け付けをしてから学校に入ります

● 登下校時の状況を把握

朝の会で、前日の下校時と当日の登校時の様子を話し合い、教職員は看護当番日誌に記入します。この日誌で情報を共有しています

● 複数児童による下校の実施

低学年と高学年で下校時間を決め、複数児童が一緒に下校しています ※そのほか、緊急時には職員が引率して下校したり、安全防犯指導の徹底を図ったりしています

#### 【校外】

● 登下校の安全確認

教職員による巡回指導のほか、保護者や校区運営委員による安全指導、蕨生みまもり隊による安全確保を行っています



表彰状と盾を前に学習発表する児童

### 報告会を開催

同校体育館で九月二十四日、全校児童三十七人や教職員、地区住民など約百人が参加して受賞報告会が開催されました。その中で、木原保雄PTA会長が「名譽な表彰におごることなく、いつまでも教室から笑い声が聞こえるよう、さらに取り組んでいきたい」とあいさつ。来賓祝辞や受賞の経過報告に続いて、児童による学習発表と記念植樹が行われました。



## 蕨生小が内閣総理大臣表彰受賞



記念植樹したミモりの木の前で



子供たちとのワークショップ (10月10日)



## 第5回アートウェーブ

今年招いた宮崎靖子さんが、市内で創作活動を行いました。また有終西小学校児童とのワークショップも実施。

完成した作品は学びの里「めいりん」に設置を予定しています。

# 旧有西小の廃材を作品に

芸術家が一定期間滞在し、地域の人たちと交流しながら創作活動を行う「アーティスト・イン・レジデンス」。

五回目を迎えた今回は、名古屋芸術大学院生の宮崎靖子さんを招きました。アートウェーブ実行委員会が募集した「有終西小学校の廃材を利用した作品制作」のテーマに興味を持ち応募した宮崎さんは、九月三日から本市に滞在。「思い出のつまった廊下を、その原型を残したまま新たな役割を与えてあげたい」と、旧有終西小学校体育館で創作活動に取り組みました。

完成した作品は、大きさが幅約六寸、高さ約一尺あり、所々に穴が開いています。穴をのぞくと、自然光を取り込んだ穴の先から旧校舎の風景写真を見ることが出来ます。この写真は、有終西小学校に通う六年生が中心となって撮影したものです。また滞在中、児童を対象に廃材を利用したカスタネットなどの楽器づくりを行い、子供たちに創作活動の楽しさを伝えていました。

問合せ先 教育委員会文化振興室

(☎) 66・5410

# 人気の給食メニューなど満載

レシピ集を発刊

大野市の学校給食は、献立作成委員会を組織して毎月の献立を作成しています。各学校の給食は長年にわたって創意工夫され、改善されたものであり、多くの人たちの努力の結晶です。

「食育」の大切さが注目される中、保護者から学校給食のレシピを教えてほしいという声があがるようになりました。教育委員会では、要望を受け学校給食で実践してきた献立のレシピを保護者に提供し、子供たちの食生活の改善に役立てようと「給食・我家のおすすめレシピ集」を発刊。市内全小中学校児童生徒の家庭に配布しました。

作成にあたっては保護者からお薦めメニューも募集し、学校と家庭が協力し、子供たちの心と体の成長に役立つよう考慮しました。レシピ集



には「穴馬カブラのマヨネーズ和え」や「里芋カレー」など、地元の食材を使った料理も紹介されているほか、野菜嫌いをなくす技など役に立つ情報が掲載されています。また調理師や給食の献立を考える栄養士の仕事を紹介されていて、普段食べている給食がどのように作られているかを知ることが出来ます。レシピ集を見ながら親子で実践してみましょ。

問合せ先 教育委員会学校教育課

(☎) 66・1111 内線532





# てくてく レポート<sup>⑤</sup>

～リポーターが  
お伺いします～



リポーター

もりひろ 森広  
こずえ 梢さん  
(26歳 下据)

5歳まで大野で過ごす。染色家として、2年前から大野を拠点に制作活動を始める。食に関心があり、食べることが大好き。ジュニアベジタブル&フルーツマイスター(通称：野菜ソムリエ)を取得し、現在も勉強中です。

※タイトル、イラストは本人の自筆

## 自然が去月む曲豆かな廿暮うし

朝市に出店している若い夫婦がいると聞き、米づくりにかかわり農業や食に関心がある私は興味津々。早速会いに行ってみました。

土打に暮らす松原宏文さん(三九)、槇子さん夫婦。二人は東京の農業大学の同級生で、現在三児のパパとママ。宏文さんは「子供に安全なものを食べさせたい」と昨年会社を退職し、本格的に農業を始めました。



農業の法人化を目指し、有機農法に取り組む宏文さん

宏文さんは奥越の若手農業者で構成する「ほやほやクラブ」のメンバーで、若い力で農業を盛り上げようと奮闘中。有機栽培を目標に、現在サトイモや白ネギなどを栽培し、仲間と一緒に有機野菜のネットショップを立ち上げました。

また、世界で活躍するNOBUこと松久信幸シェフに大野のサトイモを売り込み、九月に発売されたレシピ本のメニューに取り入れられたりと、郷土の作物を全国、そして世界へ発信しています。

農業就業者が増え、「農家の地位向上」のために今の時代に合った農業をと、経営から学び、商品や技術の開発に力を入れ、将来は法人化を目指しています。

「サトイモにどう付加価値を付けるかや作業効率を上げるにはどうすべきかなど、新しいアイデアを考えたい時が楽しい」と宏文さん。農業には自分で切り開いていく世界があり、そこに魅力の一つがあるのだと気がきました。

有機野菜のネットショップでは販売ルートを開拓したい生産者を募集中とのこと。詳しくは(☎090・

6275・0888)まで。

槇子さんは福島県出身。大野の印象を聞くと「家並み、町の景観がいいな」と思った。この良さを知ってもらえる機会が増えるといいと思う」と、このまちのことを心から思ってくれていました。

商店街、朝市の活性化を、という思いから自ら行動されている姿に心動かされました。



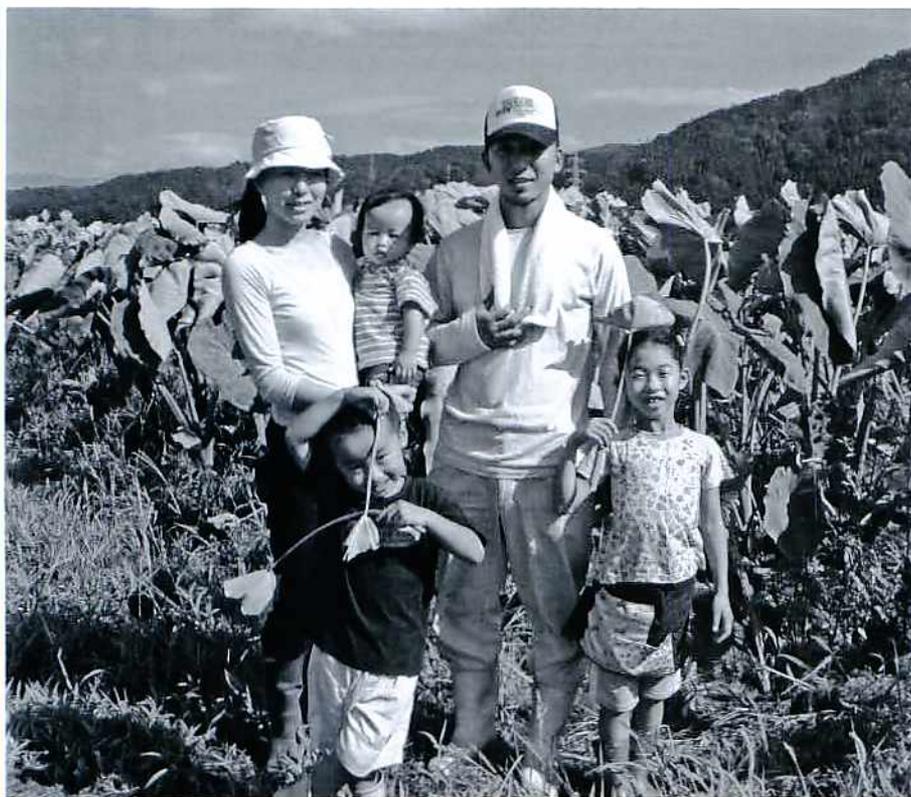
朝市でサトイモや無農薬栽培のサツマイモなどを並べる槇子さん。頭ごとのサトイモは珍しく観光客の方が買っていくそうです。

## 自然との関わり

ご夫婦は環境への意識も高く、エコ・グリーンツーリズムを進める奥越前まんまるサイト(※注)の活動に賛同し、サトイモ掘り体験の企画などをしています。榎子さんは森林インストラクターの資格を取得しており、今後も自然に触れる機会を提供していきたい、と意気軒高。

## 家族とともに

夢に向かって一緒に進む二人。宏文さんが家で仕事をしようになつて少し家族にも変化があったようです。「休日はどこかへ出掛けなくても楽しみを見つけられるようになって」と榎子さん。農業は大変な苦労のある仕事だと思えます。でも、のびのびと育っていくお子さんの成長



松原さんのサトイモ畑にて。土づくりを大切に、本当に必要なことだけをする。葉は小さくとも、虫が付こうとも、土から養分をしっかりともらったサトイモは立派に育っていました。

を日々近くで感じられるっていいなあと、菊の茎を切る手伝いをするお子さんを見て思いました。

私が調べたところ、大野の専業農家は全世帯数の一・六%ほど。物心共に豊かに暮らせる、そして楽しんで続けていける農業を目指す動き、そんな方々の輪がもつと広がっていくといいなあと思っています。

志はあっても行動に表すことは難しいことだと思います。そこに理解し合える家族がいて仲間がいる。なんて心強いことだろう。それには、自分の思いを声に出して伝えていかないと。高い志に触れ、創造し学び続ける姿に勇気をいただきました。こうしてこの地に根付いた生活を送っている方々にお会いでき、おかげでまた大野が好きになりました。新しい出会いが自分の世界を広め、人生をより大きく深くしてくれる、そんな気がしています。皆さんにもこれからも良い出会いがありますように。



※(注) 奥越前まんまるサイト  
県内外の人に、通りすがりでは決して分からない奥越前の魅力を伝えるため、もつと深く、じっくり自然や人と触れ合い、地の暮らしを体験する企画を提案している。  
何より環境に配慮し、地域社会や資源の維持につながる活動を目指している団体。



代表 坂本 均さん

奥越前まんまるサイトの夏休みイベントに参加してきました。下打波、阪谷地区での川遊びに山ブドウ摘み、そば打ち体験。たくさん笑顔があふれていて、ゆったりとした時間が流れてゆき、ふるさとの自然と向き合うことで、知らなかった風景や地域の魅力に出会うことができました。代表の坂本さんは「楽しい思い出だけではなく、地域の人々がいつまでも暮らしている社会や資源を守る必要性に気づいてもらえたら。そういう意識と一緒に持っていける活動にしていきたい」と事業の意義を語ってくださいました。

今後いろいろな体験イベントを予定しています。詳しくは ☎ 87・6474(まで)。

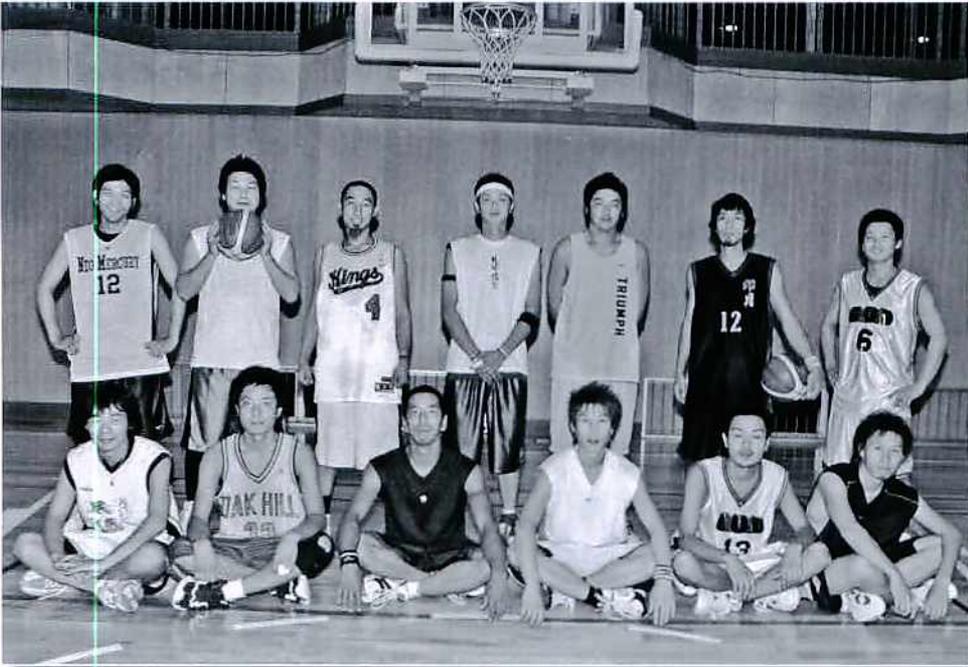
# 市民のページ

●あなたも紙面に参加しませんか。希望する人は、情報広報課広報広聴係まで  
 ☎0779・66・1111（内線441）

## 全国大会でまず一勝

### GARDEN (ガーデン)

### ぐーんが登場



ガーデンは、現在県リーグの三部に所属して活動しているバスケットボールチームです。約一年前に、合同で練習していた二つのチームのメンバーが中心となって、他チームのメンバーにも声を掛け、より強いチームにするため合併し結成しました。現在、二十四歳から三十三歳のメンバー十五人が水・金・日曜日の週三回、尚徳中学校の体育館で練習しています。

八月六日と二十日に福井市で開かれた若越青年大会に出場。県内十二チームが参加したトーナメント戦で優勝し、十一月十日から十三日にかけて東京で開催される全国青年大会に出場することが決定しました。「全国大会では一回戦で対戦するチームがどんな戦い方をするのか分からないので、相手に合わせることをなくプレイしたいです。ただ走るだけでなく考えながら速攻できる自分たちの得意なスタイルを賣いて、まず一勝したいですね」と代表の近森さん。

全国大会向けの練習では、メンバー同士が常に声を出し合い、いいプレイが出るとコート内は盛り上がります。しっかりとした守りから攻撃へ切り返すところが速攻につながるという理由から練習は守りを重視しています。

「メンバーの中には経験のない人もいますが、練習にもよく参加してくれています。いいチームですよ」合併する前のチームは県リーグの一部に所属していたのですが新しいチームになったので三部からのスタートです。チームの調子がいいので県リーグの入れ替え戦で結果を出し、いつかはまた一部リーグに昇格できるよう頑張りたいですねとメンバーの皆さん。



ガーデンでは練習に参加したい人を募集しています。詳しくは近森さん（☎090・2373・9464）まで連絡してください。

# こんにちは



## 橋本 奨平さん (開成中3年)

橋本さんは「のじぎく兵庫国体」の水泳400mフリーリレーに県代表として出場しました。市選抜選手11人のうち最年少です。

—国体選手に選ばれたと聞いたときは自分が選ばれるとは思っていませんでしたので驚き

## 市選抜選手内で最年少 「来年は国体入賞に向け頑張る」

ました。周囲の人がお祝いの言葉をかけてくれたし、特に祖父母喜んでくれて良かったです。

—水泳を始めたのはいつから

3歳からです。小学2年生からは両親の勧めで精神力を鍛えるため、競技として取り組んでいます。

—普段はどんな練習をしていますか

週に6日間、1日に5キロを泳いでいます。それ以外に、筋トレやストレッチをして基礎体力の強化をしています。水泳はほかのスポーツと比べても全身運動ですごく疲れますが、練習した分タイムという目に見える形で成果が現れるのが魅力です。

—国体はどうでしたか

観客がたくさん入っていて緊張しました。調子はとてもよく、自己ベストを更新することができましたが、チームとして予選を突破することはできませんでした。力んでしまい後半は疲れてしまったので記録はもっと縮められたと思います。来年も国体に参加できたら、入賞できるように頑張りたいです。

**【一般小説】**  
 始皇帝 (塚本青史) 奇跡の自転車 (マクラティイ) 風林火山 (井上靖) カクレカク (森博嗣) 空白の叫び (貴井徳郎) 筑波根物語 (水上勉) 風の臺碑銘 (乃南アサ)  
**【ファンフィクション】**  
 覚えていない (佐野洋子) 犬に埋もれて (久世光彦) 心の調べ (宮城道雄) 他人を許せないサル (正高信男) 授業の出勤 (山本純士) 萌えるアメリカ (堀淵清治) 物語大学医学部 (保坂正康) 恋する文豪 (柴門ふみ)

## 新着図書

# みんなの図書館

**【児童図書】**  
 イタリアののぞきめがね (ファージョン) テビルスドリーム (長谷川集平) やまおやじ (今森光彦) はじめてのくさはなあそび (吉田奈美) モコモコちゃん家出する (角野栄子)  
**【絵本】**  
 ねごとらくん (ながわりえこ) シイ イッ (ウィリス) はたけつた (田島征三) どろどろ (せなけいこ) タツノ オトシゴ (バタワース) だあれ (松岡達英) カシの木 (モリソン) 雲をみようよ (パオラ) こうしてはくは海賊になった (ロング)  
 その他、二百九十二冊入りました。



読書のススメ  
 『元気な脳のつくりかた』  
 森 昭雄 著  
 少年写真新聞社 刊

この本は、同じ著者である森さんの「ゲーム脳の恐怖」(2002年出版)を、子供にもわかりやすく書いたものです。

IT(情報通信技術)の急速な進歩に、生活も大きく変わってきました。子供たちの遊びも関心も生活のリズムも変わってきています。このことが子供たちのたちの脳にどのように影響しているのかを、科学的な面からも説明しています。

また、脳の研究がされるようになったきっかけなども書かれています。ゲームに接する時間は日本の子供たちが世界で一番長いといわれています。ITとの付き合い方を子供と一緒に見直す1冊です。

# お知らせ

●大野市役所・大野市教育委員会 ☎0779・66・1111  
住所 〒912-8666 福井県大野市天神町1-1

## 太陽光発電設備設置に補助



太陽光発電設備の設置に対し費用の一部を補助します。  
補助対象 年間所得が1200万円以下で、市内の自己の住宅に設置する人  
補助額 次のいずれか最も低い額▼40万円▼設置費の9分の2▼10万円×α<sup>※</sup>  
申込締切日 11月30日<sup>※</sup>  
申込・問合せ先 生活環境課 環境保全係(☎66・1111内線462)

## 越美北線 乗車券購入に助成

商工振興課

対象 越前大野駅と九頭竜湖駅で通勤・通学定期券や回数券、5人以上の団体で乗車券を購入し、利用した市民  
助成額 越美北線利用区間の購入費または運賃の5割  
申請方法  
①通勤・通学定期券 有効期間の終了後1年以内に定期券を提示  
②回数券 購入日から1年内に、回数券の最終券(表紙)を提示  
③乗車券 越前大野駅で発行される証明書を提示  
申請時に必要なもの 助成金の交付を受ける口座の通帳(郵便局以外)と印鑑  
申請・問合せ先 商工振興課 公共交通係(☎66・1111内線332)

## 介護保険運営協議会 委員を募集

社会福祉課

市では、広く介護保険につ

いての意見を集め、制度の運営を検討する介護保険運営協議会委員を募集します。  
募集人数 1人  
内容 介護保険運営事業に関すること  
応募資格 市内に1年以上住む40歳以上の介護保険被保険者  
任期 委嘱日から2年  
応募方法 介護保険か老人福祉に関する作文を12000字以内にとり、住所・氏名・電話番号を記入し直接持参または送付  
応募締切日 11月30日<sup>※</sup>  
応募・問合せ先 社会福祉課 高齢福祉係T9121866 66大野市天神町1-1(☎66・1111内線478)

## 「認知症」の講演会開催

社会福祉課

高齢化の進展に伴い、認知症が身近な問題になりつつあります。認知症とはどういうものか、予防のために何ができるのか、支える家族や地域の人たちの対応法などを一緒に学びましょう。  
日時 11月18日(土)午後2時～

## 犬の登録と予防注射

犬を飼うには、登録と狂犬病の予防注射の手続きが必要です。また死んだ場合や他人に譲った場合も保健センターに届け出が必要となります。

狂犬病の予防注射は、毎年受ける必要があります。動物病院で注射を受け、狂犬病予防注射済証を持参して保健センターで注射済票の交付を必ず受けてください。

問合せ先 保健衛生課 (☎65・7333)



## 保育講演会を開催

児童福祉課

日時 11月22日(木)午後7時～  
場所 学びの里「めいりん」  
講師 橋本真由美さん(ブツクオフコーポレーション代表取締役社長)  
演題 私の子育てから思うこと  
入場料 無料(申し込み不要)

## ふわわフェスティバル 開催

大野市連合ふわわ女性の会

大野市連合ふわわ女性の会では、「食育」をテーマに講演会を開催します。  
日時 11月10日(金)午後6時～  
場所 有終会館  
講師 内藤秀穂さん(福井県薬剤師会会長)  
入場料 無料(申し込み不要)  
問合せ先 教育委員会社会教育課(☎65・5591)

## 公用車を売却します

大野市内に事業所を有する法人と市民を対象に、公用車を一般競争入札で売却します。車の詳細や入札の手順などは市役所3階設計図書閲覧室とホームページで公開します。

公開期間 11月6日(月)～17日(金)

入札車両 ①クラウンロイヤルサルーン・黒・平成5年式②クラウンロイヤルサルーン・黒・平成7年式(①②ともに車検切れ)

問合せ先 財政課管財係(☎66・1111内線235)



## 国民年金

国民年金保険料の免除を受けた期間は、保険料を全額納付したときに比べ、将来受け取る年金額が少なくなります。また、納付猶予を受けた期間は年金額には反映されません。

これらの期間は10年以内であれば後から保険料を納めること(追納)ができるようになっています。ただし3年目以降に追納する場合、免除された保険料額に一定の率を乗じた金額が加算されます。

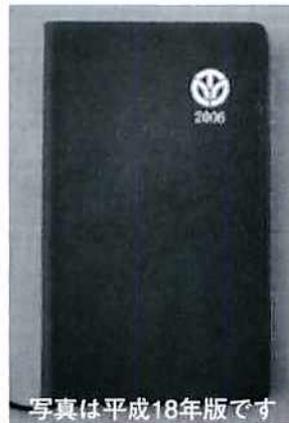
追納を希望する人は、福井社会保険事務所まで問い合わせください。

問合せ先 福井社会保険事務所  
(☎0776・23・1002)

## 市民のうごき

	10月1日現在	前月比		
世帯数	12,306世帯	-1世帯		
人口	39,440人	-32人		
内訳	男	18,827人	-7人	
	女	20,613人	-25人	
9月中の異動	転入	45人	出生	16人
	転出	60人	死亡	33人

## 県民手帳の販売開始



写真は平成18年版です

平成19年版の県民手帳を、11月中旬から県内書店と市役所行政資料室、和泉支所で販売します。

価格 400円

内容 日記編Ⅱ月間予定表など▼資料編Ⅱ国・県・市町村主要統計など▼名簿編Ⅱ県庁・市町村・中央官公庁所在地など▼生活便覧Ⅱ県内観光地・文化施設など

問合せ先 情報広報課情報管理係(☎66・1111内線444)

## 生活安定資金の活用を

商工振興課

### ●勤労者生活安定資金

対象 市内に住所を有する勤労者

取扱金融機関 北陸労働金庫大野支店

保証人・担保 保証人は北陸労働金庫の規定による。無担保

### ●市民生活安定資金

対象 市内に原則として1年以上住所を有する市民

取扱金融機関 市内の越前信用金庫各支店

保証人・担保 1人以上が保証機関の保証。無担保

貸付限度額 150万円以内

貸付利率 ①年2・3%(返済は3年以内の元利均等償還)②年2・7%(返済は

## 建物の取り壊し、売買など必ず届け出を

税務課

5年以内の元利均等償還) ※金利は変動します

申込方法 金融機関が定める所定の申し込み用紙で直接窓口へ

問合せ先 商工振興課商工労働係(☎66・1111内線331)

固定資産税は、毎年1月1日に所有している土地・家屋・償却資産について課税されます。建物の取り壊し、新増築、売買、贈与などを行い未登記の場合は、必ず税務課へ届け出てください。

建物を新増築した場合は、不動産取得税申告書も忘れず

## 歯科検診とフッ素塗布



日時 11月11日(土)午後1時45分～午後4時30分

場所 学びの里「めいりん」

内容 歯科検診・フッ素塗布

対象 4、5歳児

問合せ先 保健衛生課(☎65・7333)

## 木造住宅

### 耐震診断に補助

都市整備課

地震の被害軽減を図るため、

提出してください。

届出・問合せ先 税務課資産税係(☎66・1111内線426)

昭和56年5月31日以前に着工された一戸建て木造住宅を対象に、耐震診断の費用に対し補助します。

募集戸数 17戸(先着)

診断費用 3万円(うち2万7000円を補助します)

申込・問合せ先 都市整備課住宅緑地係(☎66・1111内線356)



### こどもチャレンジ大会

大野市子ども会育成連合会による「チャレンジ大会」が9月24日、学びの里「めいりん」で開かれました。和泉小学校の児童3人を含む市内小学生と園児63人が参加。時間内にどれだけ豆をはしでつまめるかを競う種目や20秒進む速さを競うぞうきんがけなど7種目に、真剣な表情で挑戦していました。

### 3年ぶり運行「市政バス」

10月15日、公共施設などを巡る「市政バス」が3年ぶりに運行されました。参加した78人は、和泉村との合併で新たに市の施設となった和泉郷土資料館などを興味深げに見学していました。



### 齊藤さん指揮「めいりん」落成に花

本市出身の指揮者、齊藤一郎氏率いるアポロ室内合奏団による弦楽コンサートが9月29日、学びの里「めいりん」の落成を記念して開かれました。本格的な演奏の数々に、市民300人は聞き入っていました。

## 伝統の里神楽披露



木本区 (10月8日)



稲郷区 (9月17日)



# 話題のひろば



野外での撮影ポイントを説明する南さん（左から3番目）

## 越美北線乗ってね

越美北線の利用促進を図ろうと、福井県出身の鉄道カメラマン南正時さんを講師に迎えて大会が10月15日に開かれました。鉄道の魅力について講演した後、実際に走る越美北線を撮る写真教室も開かれ、撮影時のポイントなどを伝授していました。

## 区民一丸で防災訓練

10月1日、美里町で区民を対象に防災訓練が行われました。大規模な地震が発生し、家屋のほとんどが全半壊したという想定で避難場所の美里公園に集合。避難後、消火と炊き出しの訓練を行い、不測の事態に備えていました。

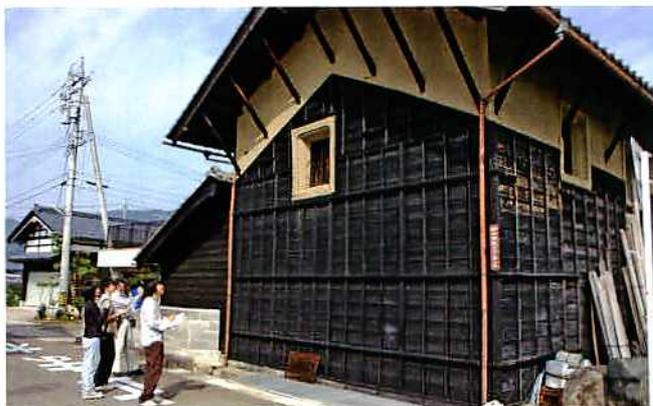


## 市民参加でスポーツ

10回目を迎えた市スポーツ・レクリエーション祭が体育の日である10月9日、エキサイト広場などで開かれました。参加した市民は、ターゲットバードゴルフ、ウォークラリーやマレットゴルフなど、いろいろな種目のスポーツを楽しみました。

## 歴史的建造物洗い出し

市内に現存する歴史的建造物の調査が、相互友好協力協定を締結する福井大学の教授や学生によって10月12日から下庄地区で始まりました。市では今後数年をかけて調査区域を市内全域に広げ、昭和初期までに建てられた建造物のデータを収集していきます。



## 表紙のことば

来春、小学校に入学する子供たちの健康診断が10月6日、和泉小学校で始まりました。最初、校舎内を走り回っていた5人の子供たちは、内科と歯科の先生の前では緊張した顔つきに急変し、視力や歯などの各種検査を受けていました。教室で該当する動物に丸を付ける簡単なテストも受検。また適応指導教室指導員の福田照寛さんは保護者との講話で、子供の気持ちになって子育てする大切さをアドバイスしていました。来春入学予定の新1年生は297人で、11月22日までに各小学校で受診することとなっています。

## 編集後記

今月から、市民リポーター取材による「てくてくレポート」と教育のページの掲載順を入れ替えました。それに合わせて教育のページは段組みも変更。これはある市民の方から「せっかく見開き2ページで構成するリポーター記事の間にピンク色のお知らせ版が入っていると、それを抜いて読まなければならない」との指摘を受けたため、何げなく紙面構成していたことを深く反省。できることはすぐにでも改善していきたいので、広報紙を読んで感じたことなど、“生”の声をもっと聞かせてほしいと思います（林）

## いずみ探訪



このコーナーでは、和泉地区の観光スポットや、名所・旧跡などを紹介します。



九頭竜湖（夢のかけはし）

### 【概要】

青森県にある十和田湖の大きさに匹敵する九頭竜湖は、九頭竜ダムによって作られた人造湖です。面積は8.9平方<sup>km</sup>、長さが13<sup>km</sup>あり、水深最大100<sup>m</sup>。湖畔は桜や紅葉の名所として有名です。

この九頭竜湖のほぼ中央に、ひときわ目立つつり橋があります。この橋は箱ヶ瀬橋で通称「夢のかけはし」と呼ばれています。夢のかけはしは瀬戸大橋のモデルケースとして設計されたもので、全長266<sup>m</sup>、湖面から20<sup>m</sup>の高さに架けられています。総工費1億8000万円（1<sup>m</sup>当たり70万円）をかけて建設され、昭和43年に完成しました。

### 九頭竜ダム

岩を積み上げて作られた日本有数のロックフィルダム。ダムの中央に水を通さない粘土質の土で壁をつくり、その両側に岩石を積み重ねています。高さは128<sup>m</sup>、幅355<sup>m</sup>あり、発電能力は22万<sup>kW</sup>です。350億円の総工費をかけて、昭和43年6月に完成しました。



報恩講の季節。当地では、ほんごさんとも呼ばれ、毎年隣のお寺の賄いに出向いている▼厨房にはとれたての地場の食材が所狭しと並び、年季の入ったお母ちゃんらの手で精進料理に仕立てられる。黒塗りのわんには、煮小豆・大根なますなどが手際良く盛り付けられ「これが何よりの楽しみ」とほんごさん料理を自当てにお参りする人も▼中でも、ホウキの実のお和えは絶品。丹念に収穫された極小の粒を幾日もかけてアク抜きし、つぶさぬようから炒りした後、くだいた大豆とすりごまを加え、みそと砂糖で味を整える。手間暇かけたもてなしの膳には、郷土のあたたかな味があふれている▼郷土の味と言え、今は廃村となった西谷村出身の友に、油ごぼろなる逸品をもらったことがある。ごぼろとはジャガイモのこと。水田の少なかつた山あいの村では主食代わりだったと▼ごぼろは皮付きのまま油で煮るのだそう。火が通つたらしょうゆと砂糖で味を付ける。ぶどうほどの極小粒は、ちまめごぼろと呼ばれ、特に珍重された。その素朴な味わいは、人々の生活や心に深く根付き、友の祖父の最期の言葉は「おぼろあ…ごぼろ食いてえで煮てくれ」だったという。油ごぼろは、なき古里の風景や思い出と一緒に、親から子へ、子から孫へと受け継がれている▼食は文化でもある。どんなに時代が変わろうとも、残したい郷土の味がたくさんある（羽生）